

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（営業企 画担当）	お客様の様子	・10月に入り気温が下がり、秋冬物が活発に動いている。特に、婦人物のトレンチコートが売れ筋となっており、徐々にヒット商品が出ている。消費者がファッションへ支出する余裕がうかがえる。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	それ以外	・来街者数が着実に増加している。変動はあるが、春以降、徐々に売上も増加している。
		一般小売店〔医 薬品〕（経営 者）	販売量の動き	・販売量の動きが非常に良く、単価や来客数の動きも全体的に良くなっている。
		百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・地区内の競合店が大改装を実施し、影響が懸念されたが、気温の低下や雨が少ないこともあり、9月に不振であった衣料品が好調に推移している。コートをはじめ、婦人雑貨、リビング雑貨も好調で、全体的に前年を上回る結果となっている。
		百貨店（企画担 当）	販売量の動き	・10月に入り、売上が回復してきている。客はイベント等にも反応するようになってきている。
		百貨店（広報担 当）	販売量の動き	・10月に入り、秋冬物衣料品の売上が好調である。特に、都心の店舗で改装した紳士部門は集客、売上とも予想を大きく上回っており、全体を押し上げている。価格は決して安くはないが、ファッション性とこだわりを極めた商品をそろえており、どのフロアも連日にぎわっている。郊外店は一部前年割れしている店舗もあるが、総じて今年一番の伸び率となっている。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・10月に入り気温が下がり、秋物衣料を中心とした動きが良くなっている。特に、20～30代の客層の動きが活発で、好調に推移している。 ・食品関連も来客数が増加し、以前に比べれば良い状態に変わっている。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・10月は来客数が105.3%、売上が100.1%となっている。9月の天候不順による秋物衣料の不振の反動もあり、婦人服、紳士服等の秋冬衣料が好調に動いている。婦人服では、コート等の単価の高いアウターが売れている。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・毎年10月後半からは、来客数が減少するが、今年は来客数が増加している。客に余裕が出てきた様子がうかがえる。
		衣料品専門店 （店長）	来客数の動き	・10月は、気温の低下に伴い防寒衣料が早くから売れ始め、前年比で300%の伸びとなっている。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・10月は暖房関係商品の動きがよく、売上が増加している。
		家電量販店（営 業部長）	来客数の動き	・客単価が上昇しており、客単価の伸び率が売上高の伸び率を上回る日も出てきている。
		その他専門店 〔キャラクター グッズ〕（従業 員）	販売量の動き	・8、9月と比べ、前年比での売上高が回復傾向にある。来客数の落ち込みにも歯止めがかかっている。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・今まで昼食を弁当で済ましていた客が、来店するようになってきている。夜の客も、若干高めの酒を注文するようになってきている。
		都市型ホテル （スタッフ）	お客様の様子	・一般宴会は前年並みであるが、婚礼の受注が増加している。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・単価は昨年同様であるが、セミナーや宴会といった主力商品の売上が、前年比20ポイント増加している。
	旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・団体や個人の客が徐々に増加し、単価も上昇している。	
	通信会社（総務 担当）	お客様の様子	・CATVの加入者が若干増加している。	
	その他レジャー 施設〔アミュー ズメント〕（職 員）	販売量の動き	・ゲームソフトは一部の売れるソフトと大多数の売れないソフトの格差が広がっており、売れないソフトは開発費さえ賄えない状況である。欧米、特に北米の販売は絶好調で、国内販売は前年比3割減といわれているが、国内の不振を救ってあまりあるほど動きが良い。	

	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・極端に忙しくなったわけではないが、仕事の動きが出てきており、2～3か月前に比べて若干好転している。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・試行錯誤で進める仕事であるが、多少計画が入ってきている。
変わらない	一般小売店〔米穀〕（経営者）	お客様の様子	・商工会議所の催しで実施したもちつきで、もち米の高騰に合わせて昨年より3割ほど値上げしたところ、販売量が減少している。客は値上げに敏感であると実感している。
	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	お客様の様子	・10月中旬から、セーターやジャケット等の秋冬物が売れ始めているが、単価は前年と変わっておらず、全体の売上も変わらない。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・全国うまいもの大会、北海道物産展などの食品関連の催事は好調であるが、衣料品は依然苦戦が続いている。
	百貨店（広報担当）	お客様の様子	・婦人服関連の動きが好調である。特にコートは、ファッション性が高く高機能の商品を中心に売れている。前年までは、寒くなるまでコートは買わないという実需中心型の消費傾向であったが、今年は機能やファッション性に納得できれば、少し早くも購入するという傾向に変わっている。
	百貨店（統括）	販売量の動き	・10月中旬以降、婦人服、婦人雑貨の動きは活発化しているものの、ブランドごとに大きな差がある。紳士服は苦戦している。宝飾品などの高級品は、前年よりは売れている。
	百貨店（業務担当）	単価の動き	・売上は前年比同水準を維持しているものの、売上内容では、セール品の比率が上昇し、正規価格品の単価が低下する傾向が依然として続いている。
	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・10月にリニューアルを実施したフロアは、前年比プラスとなっているが、その他の部門がマイナスで推移し、全体では減少となっている。客は、目的の商品を買うとそのまま帰ってしまい、買い回りをしない状態が今まで以上に顕著になっている。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・客単価、一点単価が依然として良くない。来客数は昨年並みかそれ以上であるが、客単価が低下している傾向が、ずっと続いている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・気温の低下に伴い、衣料品を中心に秋冬商品の動向が良くなっている。ただし、客単価は前年に達せず、店舗全体の売上は前年水準に達していない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・近くのコンビニが廃業したので、来客数は増加しているが、割引販売を継続的に実施しているため、客単価は低下している。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・客は来店時点で目的の商品を決めており、余分な物はない、買わないという様子で、購買態度に余裕がない。
	衣料品専門店（次長）	販売量の動き	・客単価の低下傾向は続いているが、来客数は回復している。
	家電量販店（店長）	お客様の様子	・来客数が減少しているが、単価は上昇している。耐久性のある良質な商品を購入し、長く使う傾向がうかがえ、買換えのサイクルが長くなっている。
	住関連専門店（統括）	単価の動き	・販売量はそれほど増加していないが、単価が上昇しており、売上は全体的に変わらない。
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	お客様の様子	・低価格商品を提供しても、特別に安くない限り、客は見向きもしない。中途半端な方策では他店との差が出ず、客は欲しいものが安くチラシに掲載されている店へ流れてしまう。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼の来客数は増加しているが、昼の1時間だけに集中して、それ以外の時間帯の伸びが今ひとつである。
	スナック（経営者）	単価の動き	・つまみを注文する客が少なくなっており、注文しても単価の安いものになっている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の動きに全く変化がない。客が使う金額も増加していない。	
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行の減少分は国内旅行で取り返しており、今年の販売量は、昨年と比べてそれほど減少していない。	
旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・国内の個人旅行は堅調で、海外個人旅行も辛うじて前年並みを維持している。	

	タクシー運転手	お客様の様子	・空車も多く、3か月前と比べて客もそれほど増えていない。	
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・インターネットの加入営業では、サービス内容よりも低価格商品へ関心を向ける傾向が目立っている。	
	競馬場（職員）	単価の動き	・全体の売上状況が3か月前と変わらず、前年比8%程度の減少となっている。個人客の売上は3か月前と変化はない。単価も8%減となっている。	
	その他サービス 〔語学学校〕 （総務担当）	販売量の動き	・来客、問い合わせ等は増加しつつあるが、販売量には直接結び付いていない。	
	住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べ、住宅の販売数は変わっていない。年齢層の若い客が、親の援助を受けて20代で家を購入する傾向が続いている。	
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・8、9月は販売量が好調であったが、10月は3か月前の水準に戻っている。	
やや悪くなっている	スーパー（経営者）	来客数の動き	・最近、1割近く来客数が減少し、状況は悪くなっている。	
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が変わらず、客単価が15円から20円程度低下している。	
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候不順に左右され、客も購買品目に迷っている様子で、なかなか秋物の購入に結び付かない。	
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・トラックの売行きは現状も好調であるが、3か月前が需要のピークで、それが9月に終わったので、3か月前と比較すると販売台数は減少している。	
	高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・近隣の企業が10月中旬に移転したこと、高級店よりも低価格店へ客が移っていることにより、来客数が約30%減少している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・10月に入り、レストランの夜の来客数が大きく減少している。9月にリニューアルした近隣の競合店でも、リニューアルした割には夜の来客数が低調である。隣の駅の同業他社でも、夜の来店数が大きく減少していると聞いている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・相変わらず来客数の減少、増車、値下げが続いている。	
	ゴルフ練習場（従業員）	来客数の動き	・来客数が増加していない。土日の書き入れ時でも、来客数が低迷している。	
	その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・新しく開業した施設の動員は順調であるが、売上へのインパクトが弱い。客は引き続き消費対象を厳選しており、値引き要請も強い。動員の増加ほどは収益につながらない状況が続いている。	
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・民間の設計は相変わらず少ない。行政の仕事では、競争相手が多く、案件数の減少、ダンピングにより全体的に厳しくなっている。	
悪くなっている	その他小売〔生鮮魚介卸売〕 （営業）	販売量の動き	・週末と休み明けの販売量が減少している。	
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・9月末は半期決算期で、値引きやキャンペーン攻勢により目標を何とかクリアしたが、10月は販売量が大きく落ち込んでいる。	
企業動向関連	良く なっている	-	-	
	やや良くなっている	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・見積に対する発注件数が増加している。見積より先に、納期優先で生産の指示が出た仕事もある。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が全体的に多くなり、単価も若干改善されている。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・企業のIT投資が回復していることから、取引先である半導体装置関連で荷量が増加している。他の業種においても、荷量が増加傾向にある。国内だけでなく、海外輸出向けも増加している。
	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・映画業界が比較的好況で、作品によっては期待以上の結果を出している。	
変わらない	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・協力業者が2軒廃業している。筆耕関係とホームページ制作及びプログラムを組む会社で、両社とも操作が簡単なアプリケーションソフトの普及により、クライアントの内製化が進み、仕事量が減少したとのことである。	
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10月は受注量が多く、残業をしないと納期に間に合わない状況が続いている。	

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気が若干上向いてきたという報道もあるが、空調業界の現実には厳しい。各社で出荷数量が減少している上、激しい値引き交渉で利益が出ない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気は依然として上向いていない。引き合いは多いが、受注には至らない。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・町工場が淘汰されており、今は工具屋や油屋に影響が出ている。町工場では、10万円以上は5か月の手形が通常になりつつある。
	建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設業界の景気は依然として悪い。大型物件が少なく、利益率も低い。
	建設業（経理担当）	取引先の様子	・取引先が営業譲渡し、11月から社名が変わるなど、生き残りのための統廃合が依然として身近で進んでいる。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・取引先が、価格競争が激しく、受注がなかなか難しいと話している。
	通信業（営業企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・通信機器等の販売価格が低下している。客からは、更なる値引きを求められることも多い。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規問い合わせも入ってきているが、価格競争が厳しく、受注率が思わしくない。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	競争相手の様子
		不動産業（総務担当）	取引先の様子
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	取引先の様子
	悪くなっている		
雇用関連	良くなっている		
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子
		職業安定所（所長）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	求人数の動き
		学校〔専門学校〕（教務担当）	求人数の動き
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	求人数の動き
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き
	やや悪くなっている	-	-

	悪く なっている	新聞社 [求人広 告] (担当者)	求人数の動き	・月に1～2度募集を出していた企業が、募集広告を止めている。欠員が出ないわけではないが、補充をせずに済ませており、求人は一層減少している。
--	-------------	--------------------------	--------	---